

事務事業評価票

37	公園等生活者地域生活移行支援事業 (福祉保健局生活福祉部)	事業開始	平成 16 年度
		事業終了予定	平成 21 年度

【局評価】

1	どのような経緯で事業を始めたか、何を指すのか
	<p>平成12年の自立支援センター設置以降、ホームレス者数は漸減傾向にあったが、公園には大量のテント生活者が定着している状況があった。</p> <p>新宿区区民意識調査の「区政への要望」において、15、16年においてホームレス対策が3位となり、マスコミにおいても連日ホームレスについての報道がなされている状況であった。</p> <p>そのため、公園のテント等で生活している路上生活者に対し、低家賃の借上げ住居の貸付を行い、併せて就労支援や生活相談などを行うことによって、地域での自立した生活への移行を支援することとした。</p>
根拠法令等	路上生活者対策事業に係る都区協定書 福祉保健局ホームレス地域生活移行支援事業実施要綱

2	どのように取り組み、どのような成果があったか
	<p>平成16年度から19年度において、1,945人が当事業に参加した(新規受入は、19年度まで)。</p> <p>借上げ住居を2年間低家賃(月額3,000円)で貸し付け、公園等での面接相談、健康診断、借上げ住居への入居・就労機会の確保や生活相談の実施、一般生活への移行というステップで支援を実施した。</p> <p>結果として、21年1月時点で1,212人が事業を終了し、うち989人(81.6%)が地域での生活を継続しており、ホームレスから地域での自立した生活への移行が図られた。</p> <p>また、事業を開始以降、20年までに、ホームレス数は5,500人から2,750人と半減するとともに、事業の対象とした5公園について、公園としての機能回復が図られた。</p>

3	どのような課題や問題点があったか
	<p>ホームレスの多くは、長期の路上生活から日常生活を営む上でのルールやマナー等の知識が十分でないなど、日常生活にかかる生活支援が必要である。</p> <p>廃品回収等の都市雑業的な就労により一定の収入を得ているものの一般的な就労からは遠ざかっている状況や、技能や資格がない求職者への雇用機会が減少している状況から、一定の職業能力を身に付けさせるなどの就労支援が必要である。</p> <p>また、個々の状況に応じたカウンセリングを十分に行い、職業経験や能力に応じた就職あっせん等が重要であるとともに、就労自立に向けた意欲をいかに喚起していけるかが課題である。</p> <p>住居の確保について、ホームレスの多くは、自らの関係者・親類縁者の中から適当な保証人を見出すことが困難であることから、委託先の民間団体が家主との直接契約をするなどサポートが必要である。</p>

4	局として、事業をどうしていきたいか						
	<table border="1"> <tr> <td>拡大・充実</td> <td>見直し・再構築</td> <td>移管・終了</td> <td>その他</td> </tr> </table> <p>公園からの地域生活移行によるホームレス数の減少及び対象とした5公園の機能回復が図られたことにより、事業開始当初の目的は果たされたと判断し、事業を終了する。</p> <p>なお、公園等に定着したホームレスを地域に移行する上で、低家賃住宅があれば地域生活を継続できることや、本人の意欲・必要性に合わせた就労支援・生活サポートの実施がホームレスの社会的自立に効果的であることから、本事業の成果やノウハウを自立支援システム(自立支援センター事業・巡回相談事業等)に継承し、今後のホームレス等の支援に役立てていく。</p>	拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他		
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他				
事業費	<table border="1"> <tr> <td>20年度決算額</td> <td>551,381 千円</td> </tr> <tr> <td>21年度予算額</td> <td>233,012 千円</td> </tr> <tr> <td>22年度見積額</td> <td>- 千円</td> </tr> </table>	20年度決算額	551,381 千円	21年度予算額	233,012 千円	22年度見積額	- 千円
20年度決算額	551,381 千円						
21年度予算額	233,012 千円						
22年度見積額	- 千円						

【財務局評価】

5	財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか
	<p>本事業により、989人が地域生活を継続しており、事業対象とした5公園の機能は回復し、事業目的は果たされたと考える。</p> <p>また、本事業におけるホームレスの社会的自立の成果やノウハウを既存の路上生活者対策に継承し、今後の支援に役立てていく必要がある。</p>

6	22年度予算で、どのように対応したか				
	<table border="1"> <tr> <td>拡大・充実</td> <td>見直し・再構築</td> <td>移管・終了</td> <td>その他</td> </tr> </table> <p>要求どおり事業終了とする。</p>	拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他		
事業費	<table border="1"> <tr> <td>22年度予算額</td> <td>- 千円</td> </tr> </table>	22年度予算額	- 千円		
22年度予算額	- 千円				